

平成二十九年一月一日

其ノ十七

## 新年あけましておめでとうございます

今年は酉年です。今年の干支であるにわとりは、首を前後左右に動かしていますがそれは眼球運動ができないからだそうです。できないことも、やり方を変え、工夫することで、できるようにするのが我が社です。  
弊社では昨年に、4年の歳月をかけてきた準不燃材が、やっと大臣認定を迎えることができました。  
今年にわとりにあやかり、できることを放っておくだけでなくちょっと違う視点で物事を見てみましょう！



## JAPAN WOOD DESIGN AWARD 2016 ~第2回 ウッドデザイン賞~

### ウッドデザイン賞2016 林野庁長官賞（優秀賞）を受賞！

株式会社ハリケでは、このたび『産学官連携「病院木質化プロジェクト』が「ウッドデザイン賞2016 ハートフルデザイン部門 優秀賞（林野庁長官賞）」（主催：ウッドデザイン賞運営事務局 林野庁 補助事業）を受賞いたしました。ウッドデザイン賞は、「木」に関するあらゆるモノ・コトを対象に、暮らしを豊かにする、人を健やかにする、社会を豊かにするという3つの視点から、デザイン性が優れた製品や取り組み等に贈られます。2回目となる今年は、451作品にもおおよぶエントリーの中、農林水産大臣賞（最優秀賞）1点、林野庁長官賞（優秀賞）9点、審査委員長賞（奨励賞）15点が選出されました。



今回の受賞を通じて『産学官連携「病院木質化プロジェクト』のより一層の認知拡大を目指すとともに、ウッドデザインの視点から、優れたものづくりに真摯に取り組んでまいります。

検討メンバーや関係病院の皆様をはじめ、ご協力いただきましたすべての方々に厚く御礼申し上げます。



#### 【審査委員会コメント】

木の癒し効果や精神安定効果は病院施設にとって有用なものであり、高齢化を迎える社会背景からもそのニーズは高い。

本作品の新規性は改築を必要とせず、ユニットで提供できる点にあり、一般の病院での普及促進の可能性を持っている。導入後のエビデンスの収集にも期待する。



#### 【ウッドデザイン賞とは】

ウッドデザイン賞は、木の良さや価値を再発見させる製品や取組について、特に優れたものを消費者目線で評価し、表彰する新しい顕彰制度です。

建築、木製品、取組、技術、研究など木材利用促進につながるすべてのモノ・コトを応募対象としており、「木のある豊かな暮らし」が

普及・発展し日々の生活や社会が彩られ、木材利用が進むことを目的としています。

<https://www.wooddesign.jp/>



# オーストリア 視察

株ハルキ 常務取締役の春木です。10月23日~29日にかけて、林産業の最先端を学ぶべく、オーストリアへ行つきました！視察にて感じたことを、2号にわたり、紹介します！！



**木**材利用が盛んなオーストリアでは、集合住宅や歩道橋、高速道路のフェンスといった、ありとあらゆる場所に、木材がふんだんに使われていました。

現地では、製材工場や、集成材工場、CLT工場等を視察し、大学教授や森林局の方や、建築コンサル会社との意見交換を行いました。



製材工場は「ストラエンツ・イップス工場」と「マイヤーメルンホフ・ホルツ社」の2工場を見学してきました。2工場に共通しているのが、年間100万m³の原木を製材し、羽柄材やラミナーを生産していることです。

樹種はスプルースが90%以上で、集成材の生産もしており、CLTについては、それぞれ年間6万m³もの生産をしているとのことでした。



また、原木の皮剥きにより出るバーク(木の皮)を、木質バイオマスボイラの燃料とし、そこで発生させた蒸気で木材を乾燥させていました。  
製材工場から出るオガくずもペレットに再利用。

ここは当社と同じ！

バークやオガくずを、化石燃料に代わるエネルギーとして、無駄なく再利用していることを実感しました。



**生**産は「マイヤーメルンホフ・フォレストテクニック社」見学。  
自社開発・製造している一連の最新林業用機械を見学しました。



機械の稼動を見るべく、シュタイヤーマルク州の森林官も務め、同社取締役の方の案内のとも、実際の現場に行きました。

機械を設置した場所から150m程下のスプルース原木を伐採。  
作業は1チーム3人で行い、1人は伐倒、1人は伐倒した原木へ玉掛け、1人は機械の操作となっていました。

説明の中でも特に印象的だったのが、社有林が平均斜度31°とかなり険しい山林であること。また、社有林内に1400kmの林道を自社で整備したことでした。

## 木育

～ もくい～

12月23日、函館空港ターミナルビルにて、キッズ★クリスマスイベントが開催されました。木育マイスター道南支部では、道南以外のマイスターも巻き込み、リース、オーナメント、オブジェを作る木育ワークショップを行いました。準備が大変な分、子どもたちの楽しそうな姿が見られると、とても嬉しいです。まずは「木とふれあう」ことから、木を身近に感じて欲しいと考えています。

オーナメント、オブジェに塗料を塗っている様子（中）と松ぼっくりにグルーガンを使って装飾しているところ（右）です。塗料には、防腐・防虫など、木材を保護する役割もありますので、長く使って頂けたらと思います。



12月24日 クリスマスイブに「スギのリースドライアレンジメント」を行いました。材料は一緒でも、組み合わせや色使いに個性があって色々なリースが仕上がりました。



### 編集後記

早坂です。毎年色々な転機を迎えてますが、今年は、幅を広げるよりも足元を固めることで、地道にレベルアップしていきたいと思います。ただ、自分の好きなことには、貪欲に、自分らしさを大切にしていきたいですね。

お問い合わせは、下記または担当の営業まで

本社（森町） 01374-2-5057 <e-mail> info@mori-haruki.co.jp

函館営業所 0138-66-2177 札幌営業所 011-375-7702